

製品名: FRP-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11153**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	SFRP2
別名	SFRP2; FRP2; SARP1; FKSG12; Secreted frizzled-related protein 2; FRP-2; sFRP-2; Secreted apoptosis-related protein 1; SARP-1
遺伝子 ID	6423.0
SwissProt ID	Q96HF1
免疫原	抗血清はヒト SFRP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 119-168

背景

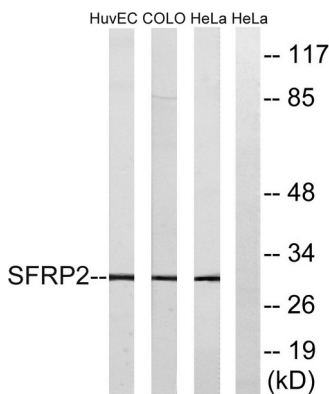
この遺伝子は、Frizzled タンパク質の推定 Wnt 結合部位と相同性のあるシステインリッチドメインを含む SFRP ファミリーのメン

バーをコードしています。SFRPはWntシグナル伝達の可溶性モジュレーターとして機能します。この遺伝子のメチル化は、大腸がんの存在を示す潜在的なマーカーです。[RefSeq提供、2008年7月],ドメイン:FZドメインはWntリガンドとの結合に参与しています。機能:可溶性Frizzled関連タンパク質(sFRPS)は、Wntと直接相互作用することにより、Wntシグナル伝達のモジュレーターとして機能します。これらは特定の細胞種において、細胞増殖と分化を制御する役割を果たします。SFRP2は、眼の網膜の発達と筋形成に重要である可能性がある。類似性:分泌型フリズルド関連タンパク質(sFRP)ファミリーに属する。類似性:1つのFZ(フリズルド)ドメインを含む。類似性:1つのNTRドメインを含む。組織特異性:脂肪組織、心臓、脳、骨格筋、脾臓、胸腺、前立腺、精巣、卵巣、小腸、結腸で発現する。脂肪組織、小腸、結腸で最も高いレベルを示す。

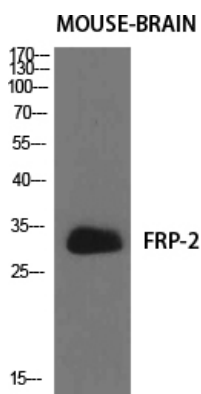
研究分野

WNT;WNT-T細胞

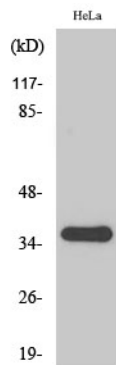
画像データ



SFRP2抗体を用いたHeLa細胞、COLO細胞、HUVEC細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500に希釈したFRP-2ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



FRP-2 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた HuvEc 細胞のウェスタンブロット解析